

2016年度(平成29年3月期)第2四半期
連結決算の概要

2016年11月11日

株式会社 キムラタン

Contents

- 1. 2016年度 第2四半期連結決算の概要**
- 2. 2016年度 通期連結業績の見通し**

2016年度 2Q連結業績概況



単位：百万円

	2015年度2Q	2016年度2Q	増減	増減率
売上高	1,856	1,756	△ 100	-5.4%
営業利益	△ 154	△ 223	△ 68	-
経常利益	△ 160	△ 243	△ 82	-
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△ 179	△ 247	△ 67	-

商品力強化を軸に、国内各業態の収益拡大に向けた諸施策と、
海外事業の本格展開に取り組んだ

ネット通販は増収したが、主力のBaby Plazaが天候不順の影響もあり低調に推移。一般専門店の冬物受注減が主要因となり、全社ベースで前年同期に対し減収となる

売上高は前年同期比5.4%減。売上総利益率は改善するが、経費率が増加

結果、営業損失は223百万円と前年同期より赤字幅が拡大

経常損失は243百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失は247百万円となる

セグメント別売上高



単位：百万円

	2015年度2Q		2016年度2Q		増減	
		構成比		構成比		増減率
全社売上高	1,856	100.0%	1,756	100.0%	-100	-5.4%
リテール事業	1,641	88.4%	1,583	90.2%	-57	-3.5%
Baby Plaza ※	1,212	65.3%	1,040	59.2%	-172	-14.2%
Bobson	199	10.7%	253	14.4%	53	27.0%
ネット通販	228	12.3%	289	16.5%	61	26.8%
ホールセール事業	200	10.8%	151	8.6%	-48	-24.3%
海外事業	15	0.8%	20	1.2%	5	37.8%

減収要因

-221百万円

- ・ Baby Plaza既存店が前期比-7.4%と苦戦
- ・ テナントショップは店舗閉鎖により大幅減
- ・ ホールセールでは冬物受注が伸び悩み

増収要因

+120百万円

- ・ BOBSON既存店は前期比+3.2%
2Qに伸びが鈍化し、計画値には届かず
- ・ ネット通販はオリジナル商品、サイト数拡大が奏功

※ テナントショップの売上を含めて表示している

	2015年度2Q	2016年度2Q	前年同期比
売上総利益率	52.0%	52.2%	0.2%
リテール事業	59.7%	60.7%	1.0%
ホールセール事業	34.0%	32.3%	-1.7%
海外事業	13.7%	35.3%	21.6%
小計	56.6%	58.0%	1.4%
その他原価額（単位：百万円）	85	100	15

※ その他原価額は、売上原価に配賦された製造間接費、在庫評価損・廃棄損等

- ・ 売上総利益率は、0.2ポイント増の52.2%
- ・ リテール事業では原価低減、BOBSONの値引率抑制により+1.0ポイント
- ・ ホールセール事業では、小売価格の見直しによる売価ダウンにより-1.7ポイント
- ・ 売上減に伴い売上総利益額は、前期比-5.0%となる
- ・ その他原価額の増加は主として製造間接費の増加による

販売費・管理費の増減



単位：百万円

	2015年度2Q		2016年度2Q		増減	
		売上比		売上比		増減率
売上高	1,856	100.0%	1,756	100.0%	△ 100	-5.4%
変動費	501	27.0%	507	28.9%	5	1.1%
固定費	617	33.3%	633	36.1%	15	2.5%
販管費合計	1,119	60.3%	1,140	65.0%	21	1.9%

- ・ 変動費率の増加は、主にリテール事業の構成比が高まったことと、ネット通販の構成比増による物流費比率の増加が主要因
- ・ 固定費の増加は、主に店舗数増に伴う人件費増及び、ネット通販の顧客獲得に向けた宣伝広告費、ホールセールでの展示会費用の増加
- ・ 店舗数増に伴う経費増が先行し、売上高販管費率は4.7ポイント増の65.0%となる

単位：百万円

	2015年度末	2016年度2Q末	前期末対比
総資産	2,814	2,490	△ 323
流動資産	2,627	2,302	△ 324
現金・預金	901	404	△ 496
受取手形・売掛金 ※	526	424	△ 102
たな卸資産	1,159	1,425	266
固定資産	186	188	1
負債	1,209	1,137	△ 71
支払手形・買掛金	79	131	51
借入金	874	762	△ 112
純資産	1,604	1,353	△ 251

主な増減

- ・ 受取手形・売掛金は売上減と回転期間短縮により減少となる
- ・ たな卸資産の増加は、季節要因もあるが販売不調の影響による
⇒下期にBaby Plaza、BOBSON各店で在庫強化販売を実施。期末に向け削減を図る

※ 電子記録債権を含む

連結キャッシュ・フローの状況



単位:百万円

	2015年度2Q	2016年度2Q	増減
営業キャッシュ・フロー	△ 204	△ 356	△ 152
税金等調整前四半期純利益	△ 161	△ 245	△ 84
減価償却費	18	16	△ 1
売上債権の増減 (△は増加)	163	101	△ 61
たな卸資産の増減 (△は増加)	△ 173	△ 266	△ 93
仕入債務の減少 (△は減少)	△ 25	51	76
その他	△ 25	△ 14	11
投資キャッシュ・フロー	△ 19	△ 23	△ 3
財務キャッシュ・フロー	58	△ 112	△ 171
現金・現金同等物期末残高	326	404	78

- ・ 営業キャッシュ・フロー
税金等調整前当期純損失、たな卸資産の増加等により、356百万円のマイナスとなる
- ・ 投資キャッシュ・フロー
主に店舗設備とネット通販、Web受注システムの取得による
- ・ 財務キャッシュ・フロー
借入金は短期が30百万円増加、長期が142百万円減少した
⇒ Baby Plaza、BOBSON各店での強化販売により在庫削減に努め、
下期における営業キャッシュ・フローの黒字化を実現する

出退店の状況



	2015年度末	出店	退店	2016年度 2Q末
全ショップ合計	247	17	8	256
Baby Plaza・ テナントショップ	191	9	8	192
Bobsonショップ	56	8	0	64

※ Baby Plaza ベビーサイズを中心とした売場内ショップ テナントショップ テナント契約の直営店
Bobsonショップ Bobsonブランド単独の売場内ショップ

- ・ 当期の実績 新規出店:17、退店:8 当期末の店舗数 256店舗
- ・ 新規出店の内訳 Baby Plaza:9、Bobson:8
- ・ 退店の内訳 Baby Plaza:8

2016年度 通期連結業績の見通し



単位：百万円

	2016年度			2015年度	増減	増減率
	上期	下期予想	通期予想			
売上高	1,756	2,543	4,300	4,237	62	1.5%
営業利益	△ 223	23	△ 200	△ 225	25	-
経常利益	△ 243	13	△ 230	△ 267	37	-
親会社株主に帰属する 当期期純利益	△ 247	12	△ 235	△ 289	54	-

- ・ 店舗販売は上期苦戦したが、下期に入り気温低下とともに秋冬物の動きが活発化
- ・ 足元の好調な状況を踏まえつつ、保守的に下期売上見通しを修正
- ・ 通期では赤字予想となるが、下期損益は前年同期に対し約1億円改善。黒字化を見込む
- ・ 必達目標として、全社一丸となって下期の黒字化を実現する

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。



KIMURATAN